

# モシリナアスコール完成予想図

JR函館本線ほしみ駅南口 徒歩約6分



「モシリ」はアイヌの言葉で「大地」、「ナア」は沖縄の言葉で「庭」、北海道の大地の庭に建つ小さな学び舎が校名の由来です。

因みに、法人名雙星舎の雙星は二つ星、日本列島の北と南に二つ星のように輝く小さな学び舎を運営する学校法人が名の由来です。

木材をふんだんに使った校舎で、SDGsを学校生活の基本にしたエコシステムキャンパス作り、授業作りを通し、生徒は自分自身の学びを作ります。(設計 象設計集団、エコシステム 木野環境)



学校法人 雙<sup>そ</sup>星<sup>せい</sup>舎<sup>しゃ</sup>

## モシリナスコーレ設立準備会

北海道札幌市の手稲山麓にアイヌの言葉、歴史、文化などをカリキュラムに組み入れた小さな学校・モシリナスコーレ作りの準備を札幌市を中心に北海道各地で行っています。

モシリナスコーレ 初等部/中等部/星<sup>ほし</sup>観(夜間)中学校

2025年4月開校予定

日本の学校教育の変容のために全国の皆様のご理解とご協力、ご支援を必要としております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

会長/理事長 星野人史

札幌事務所

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西16丁目3-32大通ハイチ702

Tel 090-5299-6122(星野) Mail hoshino@sangosya.com

法人本部

〒901-1414 沖縄県南城市佐敷字津波古509-4

Tel 098-975-7781 Mail info@sangosya.com

「ホッシーのゆんたくひんたく」のご案内

代表の星野(ホッシー)と初対面の方が3人以上お集まりになれば日本全国にお伺いし、学校教育についてゆんたくする場です。(ゆんたくは沖縄のことばでおしゃべりの意、語呂合わせのひんたくがつくと盛んなおしゃべり、べらべらしゃべる意になります)

会場の準備と参加者の募集をして頂ければ交通費、宿泊費、謝礼などは必要ありません。ご関心のある方は法人本部にお問合せ下さい。

雙星舎の学校作り(建物作りではなく授業を中心とした活動のことです)をご理解いただくために2001年開校の沖縄の珊瑚舎スコーレの様子を右のQRコードからHPでご覧ください。



雙星舎の学校作りにお力をお貸し下さい

- 寄付金が全額、損金扱いとなる寄付金制度を私学振興のため、国が日本私学財団と提携し、利用者を募っています。

「受配者指定寄付金制度」です。

寄付者は **企業・法人・団体** などが対象です。

企業・法人・団体等が寄付金の受配者としてご指定した学校法人に私学財団を通し寄付金が配布されます。寄付金額が学校法人が決めた額に達するまで最長3年間、寄付募集が出来ます。目標額に達しなかった場合は当該法人を含め、私学振興等に寄付金が使われます。

モシリナスコーレ設立のために **4億円** が必要です。

受配者に学校法人雙星舎をご指定頂き、目標額達成が2023年3月末になると、最短の2025年4月の開校が可能になります。

- 特定公益増進法人に対するご寄付には税制上の優遇措置があります。個人、企業、法人、団体など全寄付者に適応されます。

学校法人雙星舎は **特定公益増進法人** の指定を受けております。ご寄付頂いた方には年末調整に必要な書類をお送りします。

※寄付金制度についての詳細などのお問合せは法人本部に電話かメールでお問合せ下さい。

- モシリナスコーレ初等部/中等部の学校作りに携わるスタッフ(専任教員)と非常勤の教科講師/特別講師/パート職員等を募集しています。
- モシリナスコーレ星観中学校は学齢期を過ぎた義務教育未修了の方などを対象にした夜間中学校です。授業料無料で運営しますので各教科の授業を担当する講師の方にはボランティアでご協力をお願いすることとしています。

※スタッフ、講師等の募集についてのお問合せは札幌事務所の星野宛に電話かメールでお問合せ下さい。

改めてのお願い

児童、生徒の心地よい変容を促し、それを手助けする学校作りには多くの方々のご協力とご支援が必要です。雙星舎がモシリナスコーレ設立のために用意した資金は1億円程です。それも校地購入やその他に支出しているため手持ちの資金は僅かなものです。多くの個人、企業、法人、団体からのご支援を頂きモシリナスコーレの設立を実現したいと願っております。